

2015年8月12日

株式会社 富士経済
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
 12-5 小伝馬町YSビル
 TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>
<https://www.fuji-keizai.co.jp/>
 広報部 03-3664-5697

ケトン系溶剤からエステル系溶剤への代替や、溶剤リサイクル体制の確立など競争環境の変化が進む
溶剤の国内市場を調査

2019年予測(2014年比)

エステル系 666億円(8.3%増) 低臭性、低毒性が評価され需要が増加

注目市場

酢酸n-プロピル(NPAC) 55億円(25.0%増) 食品の個包装化が市場拡大の追い風に

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811)は、塗料やインキ、接着剤などの希釈用途をはじめ、医薬・農薬の反応溶媒、誘導品基礎原料、洗浄剤など数多くの用途で使用される溶剤について、エステル系溶剤によるケトン系溶剤の代替、酢酸エチルの輸入品の増加、溶剤リサイクル体制の確立などで競争環境が大きく変化している国内市場を調査した。

その結果を「2015年 溶剤市場の全貌」にまとめた。

この報告書ではエステル系4品目、アミン系3品目、炭化水素系8品目、ケトン系3品目、アルコール系2品目、グリコールエーテル系7品目、エーテル系2品目、その他4品目、計33品目の国内市場の現状を調査・分析し、将来を予測した。

<調査結果の概要>

溶剤32品目 の国内市場

	2014年	2019年予測	2014年比
数量	2,121,420トン	2,094,800トン	98.7%
金額	4,771億円	4,611億円	96.6%

調査対象の33品目からシンナー(外販用)を除いた32品目を対象とした。

2014年の溶剤市場は原油・ナフサ価格の上昇により、石油由来製品である溶剤の価格が全体的に上昇したこともあり、金額ベースで前年比2.3%増となった。2015年に入り原油価格が下落しているため、各溶剤の低価格化が進んでおり、2015年は2014年比2.1%減が見込まれる。

溶剤市場は主用途である塗料や印刷インキの希釈用途などが成熟しているため、2016年以降も縮小が予想される。とは言え、生産台数が増加する自動車の塗料向けや、食品包装用グラビアインキ向けの増加などの明るい材料もあるため、2019年の市場は金額ベースで2014年比3.4%減と、小幅な縮小にとどまるとみられる。

大きな流れとして、一般溶剤用途では、低臭、低毒性が特徴のエステル系が、炭化水素系(トルエン、キシレン)やケトン系(MEK、MIBK)の代替需要を受けて市場拡大すると予想される。また、洗浄剤用途では、内需の縮小や環境規制の強化により、塩素系やフッ素系の市場が縮小するとみられる。

【種類別市場】

エステル系

	2014年	2019年予測	2014年比
数量	338,400トン	365,850トン	108.1%
金額	615億円	666億円	108.3%

エステル系は低臭、低毒性という環境対応が評価され、炭化水素系やケトン系の代替品として需要が伸びている。今後は高齢化の進展や単身世帯の増加に伴う個食化の進展により、食品包装の個包装化や小型化が増えるため、それに伴うグラビアインキ向けの増加が予想される。

特に酢酸n-プロピル(NPAC)は、食品包装用グラビアインキ向けの増加を受け、2015年以降は金額ベースで毎年4%前後の伸びが予想される。3-メトキシ-3-メチルブチルアセテートは混合溶剤としての使用が増加するとみられる。また、酢酸エチル(EAC)は安価な中国メーカー品が増加している。

アミン系

	2014年	2019年予測	2014年比
数量	52,720トン	57,190トン	108.5%
金額	315億円	352億円	111.7%

アミン系はN-メチル-2-ピロリドン(NMP)が液晶、半導体、リチウムイオン二次電池(LiB)の洗浄剤用途や、ワニス材料やPPS反応溶媒用途の需要が増加し、2015年以降も金額ベースで毎年2%以上の伸びが予想される。また、N,N-ジメチルアセトアミド(DMAC)は繊維・樹脂の製造用途、医薬・農薬の反応溶媒用途などで底堅い需要が期待される。

<注目市場>

酢酸n-プロピル(NPAC)

	2014年	2019年予測	2014年比
数量	19,000トン	24,000トン	126.3%
金額	44億円	55億円	125.0%

酢酸n-プロピルはVOCが発生しにくく、低臭気であるため、トルエンやキシレンからの代替が進んでおり、グラビアインキ向けで酢酸エチルとの混合溶剤として使用されることが多い。

高齢化の進展や単身世帯の増加に伴う個食化により、CVSやスーパーマーケットでは食品包装の個包装化・小型化が進んでいる。それに伴う食品包装用グラビアインキ向けの増加により、酢酸n-プロピルの市場は拡大するとみられる。

<調査対象>

エステル系	酢酸エチル(EAC)、酢酸ブチル(NBAC)、酢酸n-プロピル(NPAC)、 3-メトキシ-3-メチルブチルアセテート
アミン系	N-メチル-2-ピロリドン(NMP)、ジメチルホルムアミド(DMF)、N,N-ジメチル アセトアミド(DMAC)
炭化水素系	トルエン、キシレン、ターペン系、i-パラフィン系、n-パラフィン系、ナフテン系金 属洗剤、アロマ溶剤、n-ヘキサン
ケトン系	メチルエチルケトン(MEK)、メチルイソブチルケトン(MIBK)、アセトン
アルコール系	イソプロピルアルコール(IPA)、n-ブチルアルコール(n-ブタノール)
グリコール エーテル系	メチセロ、ブチセロ、ブチルカルビトール(ブチカビ)、エチレングリコールモノt-ブチル エーテル(ETB)、プロピレングリコールモノメチルエーテル(PM)、プロピレングリコ ールモノメチルエーテルアセテート(PMA)、3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール (MMB)
エーテル系	エチルエトキシプロピオネート(EEP)、テトラヒドロフラン(THF)
その他	塩素系溶剤、フッ素系溶剤(洗剤用)、n-プロピルブロマイド(洗剤用)、シンナー(外販 用)

<調査方法>

富士経済専門調査員による参入企業及び関連企業・団体などへのヒアリング及び関連文献調査、社内データベースを併用

<調査期間>

2015年4月~7月

以上

資料タイトル:「2015年 溶剤市場の全貌」 体 裁: A4判 234頁 価 格: 書籍版 150,000円+税 PDF/データ版 160,000円+税 書籍版・PDF/データ版セット 180,000円+税 調査・編集: 株式会社 富士経済 東京マーケティング本部 第四部 TEL: 03-3664-5821 FAX: 03-3661-9514 発行所: 株式会社 富士経済 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-5 小伝馬町YSビル TEL: 03-3664-5811(代) FAX: 03-3661-0165 e-mail: info@fuji-keizai.co.jp この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL: http://www.group.fuji-keizai.co.jp/ https://www.fuji-keizai.co.jp/
--